

日建・レンタコムカップ
第28回全日本学生女子ヨット選手権大会

開催地： 愛知県蒲郡市 豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖
大会期日： 2019年9月20日（金）～ 2019年9月23日（月）
共同主催： 全日本学生ヨット連盟 中部学生ヨット連盟
公認： （公財）日本セーリング連盟【2019-06】
後援： 蒲郡市、蒲郡市教育委員会、中部ヨット協会、愛知県ヨット連盟
日本470協会、日本スナイプ協会
特別協賛： 日建・レンタコムグループ 日建レンタコム株式会社 日建リース工業株式会社
日建片桐リース株式会社
協賛： 明治商工株式会社 株式会社伊藤園 蒲郡市観光協会
協力： 豊田自動織機海陽ヨットハーバー 蒲郡三谷温泉平野屋

レース公示

「SP」レース委員会から審問なしにまたは、プロテスト委員会の審問によりスタンダード・ペナルティーが課せられる。

「NP」艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則 60.1(a)を変更している。

1 規則

- 1.1 本大会は「セーリング競技規則 2017-2020」（以下、規則という）に定義された規則を適用する。但しこれらの規則等のうち、本レース公示または帆走指示書（以下指示）によって変更されたものを除く。
- 1.2 規則の定義にある規則(g)には全日本学生ヨット連盟にて入手することができる以下の文書が含まれる。
 - (1)全日本学生ヨット連盟規約
 - (2)470級学連申し合わせ事項
 - (3)スナイプ級学連申し合わせ事項
 - (4)艇体への大学名表示に関する申し合わせ事項
- 1.3 付則Pの「セール番号」を「セール番号または識別番号」に置き換え適用する。
- 1.4 SCIRA 規則の「国内及び選手権大会の運営規定」は、同規定 9.1 に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。

2 競技種目

470級 スナイプ級

3 資格及び参加申し込み

3.1 参加資格

- (1)加盟大学に学籍があり、入学してから4年以内の女子で、エントリー表に登録済であること。
- (2)複数の艇へのエントリーは認めない。
- (3)選手及び監督・コーチは、申込時点で2019年度（公財）日本セーリング連盟会員であること。
- (4)スナイプ級の選手は申込時点で2019年度 SCIRA 登録済であること。

- (5) 各水域学生ヨット連盟の推薦を得た加盟大学のチームであること。
- (6) スポーツ安全保険（人身・物損補償）相当の保険に加入していること。
- (7) 各水域の推薦枠は両クラスとも、各水域の予選エントリー数のパーセンテージにより与える。詳細については以下のとおりとする。

予選エントリー数	推薦枠数
7 艇以下	全艇
8 艇以上 14 艇以下	予選エントリー数の 80%、小数点 1 位を繰り上げた艇数
15 艇. 16 艇	12 艇
17 艇以上	予選エントリー数の 70%、小数点 1 位を繰り上げた艇数

※但し、参加艇数が各クラス 35 艇に満たない場合は、各水域の代表者の推薦により大会会長の承認を得た上で、エントリーを認める場合がある。

3.2 エントリー

エントリーは、各艇ヘルムスマン 1 名、クルー 2 名以内とする。

3.3 参加申し込み

(1) 参加資格のあるチームは、申し込み書類一式を参加料の振り込みを含め 2019 年 7 月 16 日(火) 必着で下記メールアドレスに送ることにより参加申し込みすることができる。但し参加申込書 3(支援艇許可申請書)は、大会受付まで受付を行う。

①参加申込書 1、参加申込書 2 (競技者名簿)、参加申込書 3 (支援艇許可申請書)。

※1. Excel 形式のまま提出のこと。参加申込書 3(支援艇許可申請書)を大会受付で提出する場合は、印刷し提出すること。

2. スナイプ級の競技者は、SCIRA 会員番号を参加申込書 2 に記載のこと

②参加料の振込み書の写し。

③参加申込書に記載した競技者全員および監督、コーチが『2019 年度(公財)日本セーリング連盟』の会員であることの証左。

これは(公財)日本セーリング連盟のホームページよりダウンロードすることができる。

(2) 送付先は右のとおり。 全日本学生ヨット連盟 女子委員長

E-mail: 28th.joshi.yacht@gmail.com

4 参加料

1 艇 20,000 円 識別番号料 2,100 円

振込先は右のとおり。 三菱 UFJ 銀行 松阪支店 店番 532 普通口座 0090156

中部学生ヨット連盟 会長 石倉 俊宏

振込は個人名ではなく、大学名とすること。

上記参加料には、大会期間中の 9 月 21 日から 9 月 23 日の給水設備使用料が含まれるが、大会期間中分を含めて豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料は含まれない。

豊田自動織機海陽ヨットハーバーでの艇保管料及び、大会期間外の給水設備使用料は、各チームの責任でヨットハーバー事務室に支払うこと。

5 使用艇、セール

5.1 使用艇

- (1) 470 級は 2019 年団体登録を完了し、かつ本大会の大会計測を完了していること。
- (2) スナイプ級は 2019 年度 SCIRA 登録が完了し、かつ本大会の計測を完了していること。
- (3) 艇は原則自己所有艇とし 1 艇の予備艇を認める。主催団体が認めた場合は参加者がチャーターした艇も可とする。470 級およびスナイプ級のチャーター艇は学連登録艇に限る。
- (4) [DP]470 級、スナイプ級の艇体には【添付図 A】に示す『艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項』に定められた表示をすると共に、レース委員会が準備した識別番号を指定した位置に貼り付けしなければならない。
- (5) 艇の交換は破損による場合のみとし、事前にテクニカル委員会の許可を得なければならない。新たに使用する艇は大会計測を完了していなければならない。

5.2 セール

- (1) 両クラスとも、1 艇に 1 セットのセールの登録、および 1 セットの予備セールの登録を認める。
- (2) 470 級のセールは 2019 年の各水域での大会計測を完了していなければならない。
また 470 クラス協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。メイン・セールとスピネーカーのセール番号は同一でなければならない。
- (3) スナイプ級のセールは 2019 年の各水域での大会計測を完了していなければならない。
また 2019 年度 SCIRA に登録済の艇以外のセール番号を使用してはならない。
- (4) 両クラスとも予備セールを含み、同一のセール番号を複数の艇で登録してはならない。
- (5) セールの交換は破損による場合のみとし、テクニカル委員会の許可を得なければならない。

6 日程

6.1 日程

9 月 20 日 (金)	10:00 ~ 16:00	受付・登録、計測
9 月 21 日 (土)	08:00 ~ 09:30	受付・登録、計測
	09:45 ~ 10:15	ブリーフィング
	11:00 ~ 11:30	開会式
	13:00	470 級予告信号
9 月 22 日 (日)	引き続き	スナイプ級予告信号
	08:15 ~ 08:30	ブリーフィング
	09:30	470 級予告信号
	引き続き	スナイプ級予告信号
9 月 23 日 (月)	08:15 ~ 08:30	ブリーフィング
	09:30	470 級予告信号
	引き続き	スナイプ級予告信号
	16:00	表彰式 レセプション・パーティー

9 月 21 日 (土)、22 日 (日) は 15:31 より後に、23 日 (月) は 11:31 より後に予告信号は発せられない。

6.2 予定されるレース数は次のとおりとする。

日程	470 級	スナイプ級
9 月 21 日 (土)	3	3
9 月 22 日 (日)	3	3
9 月 23 日 (月)	2	2
合計	8	8

本大会で計画された全レースを行うため、当日までの計画に対して+1 レースを越えないまで、レースを前倒しで行う場合がある。

7 受付

参加チームは次の書類等を提出し受付を完了させなければならない。

- ① 470 級は INTERNATIONAL 470 CLASS MEASUREMENT FORM (原本)の提示。
ただし、2011 年 7 月 29 日以前に登録された艇は、上記に加え計測登録証明書の提示。
- ② スナイプ級はスナイプ級計測証明書の提示。

8 計測

- 8.1 艇は計測前に、受付時に交付される識別番号を【添付図 A】にある位置に貼りつけなければならない。
- 8.2 参加チームは、艇体およびセールについて、イクイップメント・インスペクターとして指定する各水域のオフィシャル・メジャーによる本大会の事前計測を完了したことを証明する「大会計測完了証明書」を提示するとともに、「大会計測済スタンプ」の確認を受けなければならない。
- 8.3 本大会の事前計測は、2019 年 8 月 12 日(月)以降に実施されなければならない。
「大会計測完了証明書」発行後は艇の修理・改造を行ってはならず、修理・改造を行った場合は、再計測を受けなければならない。
- 8.4 各日の最後のレース終了後、海上にてテクニカル委員会に呼ばれた艇は、指示に従いインスペクションを受けなければならない。

9 帆走指示書

- 9.1 帆走指示書は 8 月 31 日(土)までに、出場大学に送付するとともに、愛知県ヨット連盟のホームページに掲示する。
- 9.2 帆走指示書に対する事前質問は、9 月 14 日(土)までに参加申込み送付先にメールで提出のこと。
- 9.3 事前質問に対する回答は、9 月 21 日(土)のブリーフィングまでに公式掲示板に掲示する。

10 開催地

【添付図 B】はレース・エリアの場所を示す。

11 コース

【添付図 C】の見取図は、レグ間のおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

12 得点

- 12.1 大会の成立には、1 レースを完了することが必要である。
- 12.2 艇のシリーズ得点は、完了したレースが 5 レース以下の場合、全レースの合計得点とする。
6 レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 12.3 総合順位は、両クラスに各 1 艇以上参加した大学を対象とする。
各大学で最も順位の良かった両クラス 1 艇ずつのシリーズ得点を加算して総合得点とし、総合得点の少ない大学を上位とする。
- 12.4 2 大学以上でタイがある場合、総合得点の対象となった両クラスの各々のレースの得点を合算したものを規則 A8 にある得点に読み替えてタイを解く。また、470 級とスナイプ級で完了したレース数が異なる場合、どちらかのクラスのみ完了したレースの得点はいない。

13 支援艇

- 13.1 支援艇とは、規則の定義にある支援者が乗艇する全ての艇を指す。
- 13.2 支援艇のある大学は、受付時に「参加申込書 3」として提出した「支援艇許可申請書」の写しを提示することにより、「支援艇許可書」を受け取ることができる。
- 13.3 「NP」「DP」豊田自動織機海陽ヨットハーバー内では、支援艇は、主催団体が指定する棧橋以外に係留してはならない。
- 13.4 「NP」「DP」支援艇は、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしのために一時的に豊田自動織機海陽ヨットハーバーに入港する場合でも、ヨットハーバー事務室にて所定の手続きを行い、使用料を支払わなければならない。一時的に入港した支援艇は、乗員の乗降、機材の積込み、積下ろしが完了次第、速やかに出港しなければならない。
- 13.5 「NP」「DP」支援艇は水上にいる間、大会本部で貸与する『識別用リボン』を水面より 1.5m 以上の高さに掲揚するとともに、大会本部で支給される『支援艇許可書』を外部より視認できるように掲示しなければならない。

14 賞

賞は次のように与えられる。

総合	総合 1 位	全日本学生ヨット連盟会長盾（持ち回り） 総合優勝旗（持ち回り）、賞状、賞杯総合
	2 位、3 位	賞状、賞杯
クラス	各クラス 1 位	関山杯、優勝旗（持ち回り）、賞状、賞杯
	各クラス 2 位、3 位	賞状、賞杯
	各クラス 4 位-6 位	賞状
最優秀選手賞		関山恭子記念賞旗（持ち回り）

15 責任の否認

この大会の競技者は自分自身の責任で参加する。規則4『レースをすることの決定』参照。

主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16 大会期間中の肖像権

大会期間中の艇、選手に関する写真、ビデオ等の全ての著作物、映像に関する権利は、主催団体に帰属する。これらは主催団体のホームページやSNSに掲載されることがある。これらは、参加申し込みをした時点で同意したものとみなす。

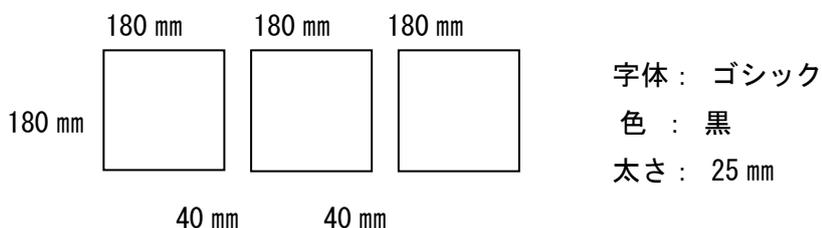
17 問合せ先

問合せ先は右のとおり。

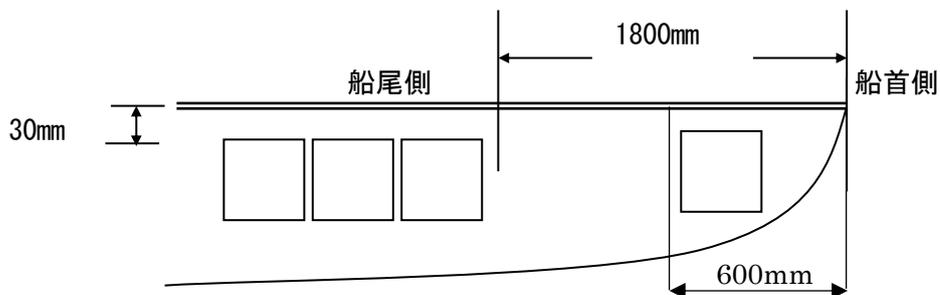
中部学生ヨット連盟 女子委員長 兵藤 麗奈 e-mail : chubu.icyf@gmail.com

【添付図A】 艇体および識別番号貼付位置

(1) 470 級. スナイプ級



- ・ 大学名シールは、各大学（または水域）で作成する。
- ・ 貼付位置は前部デッキのステムから後方 1800 mm より後ろ近い部分の両側板部分とする。
ただし、文字の大きさは 180mm 以上であれば任意とし、それに伴った字間、太さの変動は認める。
また、艇体が濃色で黒色では見えにくい場合に限り、白色で表示することも可とする。
- ・ バウの先端から、600 mm の間に識別番号を張り付ける。
470 級：黒色 スナイプ級：赤色



* 取り付け位置の若干の誤差は許容する。

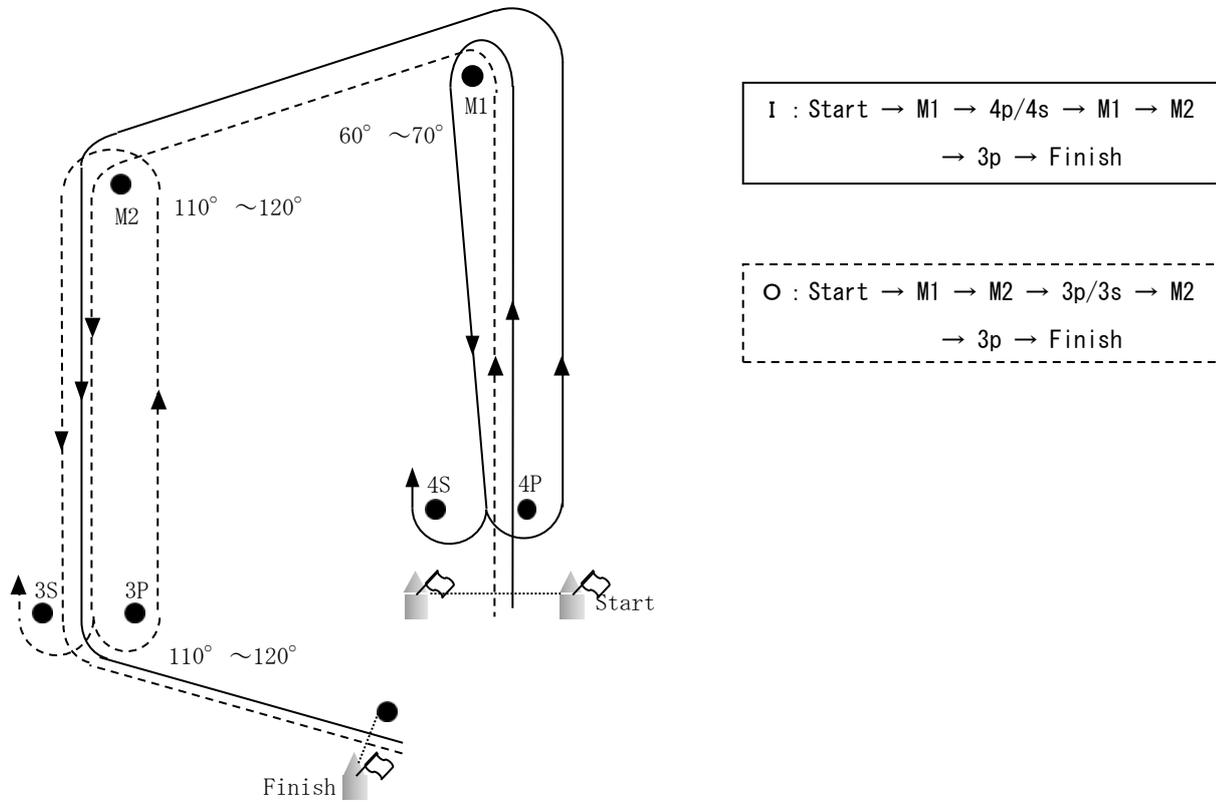
【添付図B】 レースエリア



N 34. 47. 183 E 137. 16. 017 を中心とした、 ϕ 1.4NM をレース海面とする。

【添付図 C】：コース見取り図

470 級、スナイプ級



以 上